

安全データシート

改定日：2022 年 2 月 2 日

1. 製品及び会社情報

製品名 : ディスパーゼ I (中性プロテアーゼ製剤)
会社名 : 合同酒精株式会社
住所 : 千葉県松戸市上本郷字仲原 250
担当部門 : 酵素医薬品本部
電話番号 : 047-705-7795
FAX 番号 : 047-705-7798
緊急連絡先 : 酵素医薬品本部
緊急連絡先電話番号 : 047-705-7795

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性 : 呼吸器感作性 区分 1

絵表示



注意喚起語 : 危険
環境影響 : 水質汚濁
危険有害性情報 : 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸器困難をおこすおそれ
注意書き : 【安全対策】

飛沫/ミストを吸入しないこと。

換気が十分でない場合には呼吸用保護具を着用すること。

【応急措置】

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸器に関する症状が出た場合には、医師の診断、手当てを受けること。

【廃棄】

内容物や容器は、都道府県の許可を受けた部門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名（又は一般名） : 中性プロテアーゼ

化学的特性

（化学式又は構造式） : *Paenibacillus sp.*（旧名 : *Bacillus polymyxa*）を培養して得られた
酵素粉末製剤

官報公示整理番号 : ー

CAS NO. : 9001-92-7

含有量および成分情報 : 中性プロテアーゼ
酢酸カルシウム

国連分類および国連番号 : 国連基準で評価して危険物に該当しない。

危険有害成分

安衛法通知対象物質 : 該当無し

PRTR 法対象物質 : 該当無し

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移動し、安静を保ち、水で良くうがいをする。

皮膚に付着した場合 : 接触した部位を水でよく洗浄する。

眼に入った場合 : 清浄な水でよく洗眼する。洗眼の際、まぶたを指で良く開いて隅々まで
水が行き渡るようにする。コンタクトレンズを使用している場合は、取
り外して洗眼する。洗眼に湯を用いてはいけない。

飲み込んだ場合 : 水で、口と喉を良く洗浄する。

以上の処置後、必要に応じて医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水又は泡沫で消火する。

特有の危険有害性 : 火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護 : 適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 作業の際には保護具を着用し、皮膚に接触したり、吸入しないようにす
る。

環境に対する注意事項 : 必要に応じて保護具を着用し、飛散しない様に注意して回収する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材 : ウェス等で吸い取り、密閉容器に回収する。残りは大量の水で洗い流す。
二次災害の防止策 : 漏出した製品の河川等への直接流入を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（取扱者の暴露防止、火災爆発の防止など）

: 必要に応じて保護具を着用する。作業後には、必ず手や顔を洗うこと。

注意事項（局所排気、全体排気、エアロゾル、粉塵発生防止など）

: 漏れ、あふれ、及び飛沫の発生を防止する。飛沫、エアロゾルが発生する恐れのある場所には、局所排気装置を設置する。

安全取扱い注意事項（混合接触防止、接触回避など）

: 容器のふたは必用なときに開け、常時密閉する。

保管

適切な保管条件 : 直射日光を避け、容器を密閉し冷所で保管する。万一の漏出に備え、河川への流出を防止できる場所に保管する。

安全な容器包装材料 : 密閉可能な不浸透性の容器

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 基準なし

許容濃度 : 基準なし

日本産業衛生学会 : 基準なし

AGGIH : 基準なし

設備対策 : 出来るだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。

保護具

呼吸器の保護具 : 防塵マスク

手の保護具 : 不浸透手袋

眼の保護具 : 保護眼鏡等の保護具

皮膚及び身体の保護具 : 作業服（長袖、長ズボン）、帽子、長靴

適切な衛生対策 : 作業後、汚染された保護具は廃棄又は洗浄する。取り扱い場所の近くに、洗眼、手洗い及び身体洗浄のための設備を設置する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态（外観等）

形状 : 結晶

色 : 白色

におい : 無臭

pH : -

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

溶解性 : 溶媒に対する溶解性 水と任意の割合で混ざり合う。

10. 安定性及び反応性

安定性 : 冷蔵条件 (2~10℃) で安定

安定性 : 不燃性の粉末

危険有害反応可能性 : データなし

避けるべき条件 : データなし

混触危険物質 : データなし

危険有害な分解生成物 : データなし

11. 有害性情報

急性毒性 : データなし

局所 (皮膚、目等) 影響 : 眼、皮膚に付着すると炎症を起こすことがある。

感作性 : 敏感な人は粉塵や飛沫を繰り返し吸引すれば、アレルギーショック、喘息発作などを起こすことがある。

変異原性 : データなし

生殖発生毒性 : データなし

12. 環境影響情報

移動性 : 水系及び土壌環境に移動し得る。

残留性/分解性 : 廃水処理施設で処理する。

生体蓄積性 : データなし

生態毒性

魚 : データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器・包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制	: 該当なし
国内規制	: 該当なし
輸送の特定の安全対策 及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる 転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15. 適用法令

16. その他の情報

記載事項は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の手扱いを対象としたもので、特別な手扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お手扱い下さい。
